

2. 「平成26年新春賀詞交歓会」報告

音響材料協会主催の恒例行事である新春賀詞交歓会が1月23日(木)、NHK青山荘1階大ホールにて開催されました。

本年は、正会員、賛助・研究会員の皆様に加えて購読会員企業の皆様にもご案内させて頂きました。当日は官公庁、大学、研究機関、協会団体、建設会社、会員企業の建材メーカー、音響工事業社等、多数ご参加頂きまして誠にありがとうございました。

はじめに当協会の袴田副理事長より、本年は音響材料協会が1964年に設立されてから50周年を迎えるにあたり、大学・研究機関・各団体様に対して今日までの多大なる支援・指導への御礼と、機関誌「音響技術」の発行をはじめJIS改訂、研究等、今後の活動に対し更なる理解と協力をお願いしたいと挨拶がございました。



袴田副理事長



経産省 岩倉知明様

御来賓を代表しまして 経済産業省製造産業局住宅産業寮業建材課 岩倉知明様からは、今後、東京オリンピック開催へ向けた都市の再開発・再構築を機会に、音響材料を周知してもらうためにも、材料の重要性を発信することが不可欠であるとお言葉を頂きました。



唐品理事



松本監事

唐品理事の発声により、公共空間における音響材料の有効性や住宅の省エネルギー推進による音響材料の必要性がますます高まることを期待し、乾杯が行われました。

懇談・会食が始まると、新年の挨拶をはじめ、景気向上も反映してか明るい会話が聞こえてまいりました。

松村監事からは、本年も協会に対して皆様からのご支援のお願いの後、中締めとなり盛会のうち終宴となりました。